専攻医勉強会
患者中心の医療の方法

群馬大学大学院医学系研究科総合医療学
小和瀬　桂子

2026年11月４日（水）

総合診療専門研修で修得すべき７つの資質・能力

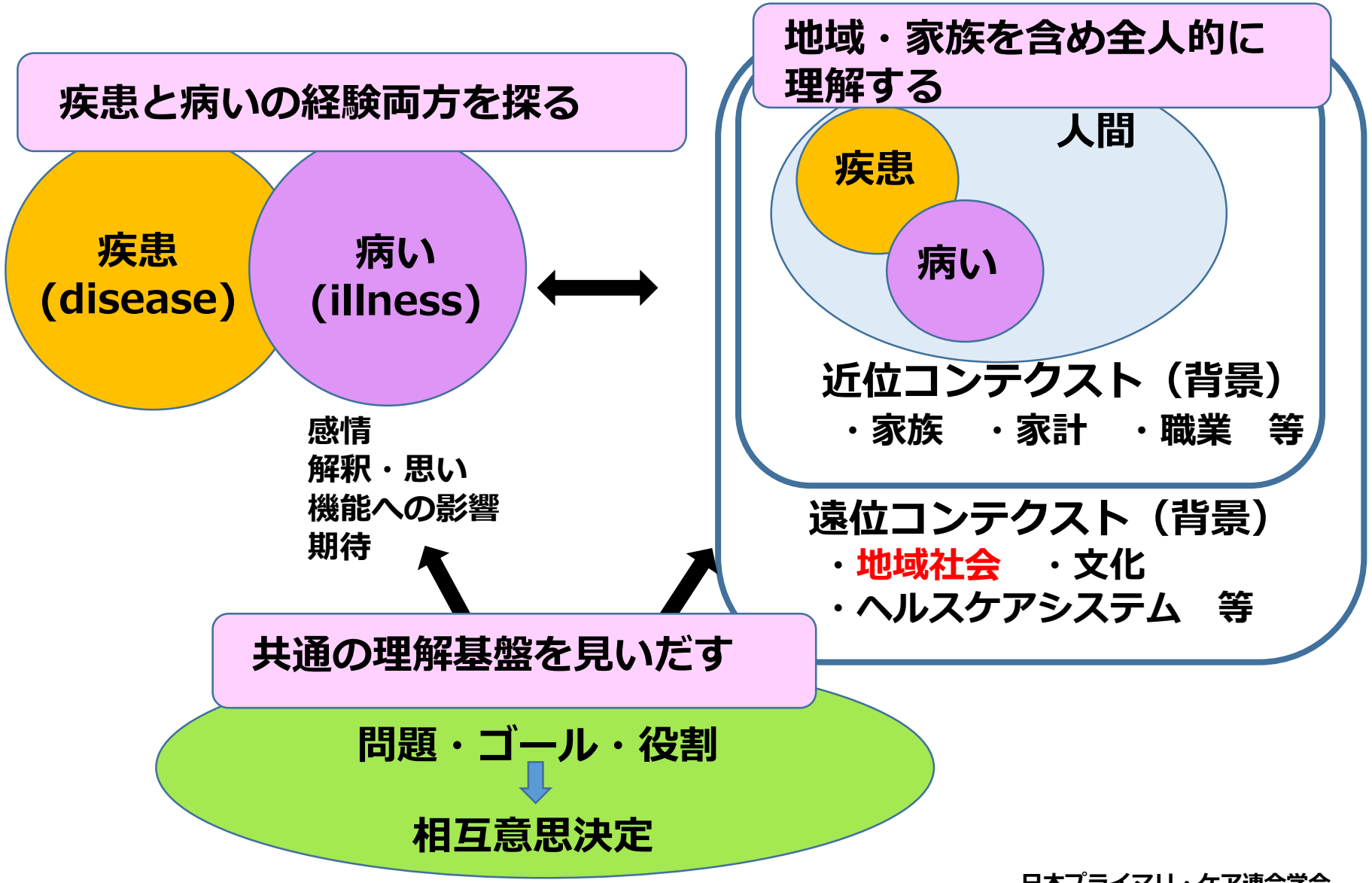
1. 包括的統合アプローチ
2. 一般的な健康問題に対応する診療能力
3. **患者中心の医療・ケア**
4. 連携重視のマネジメント
5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ
   →10月のレジデントデイ
6. 公益に資する職業規範
7. 多様な診療の場に対応する能力

https://shin-kateiiryo.primary-care.or.jp/competency

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会　新・家庭医療専門医制度

HOME ＞プログラムの概要 ＞研修目標 ＞コンピテンシー：詳細

患者中心の医療の方法



日本プライマリ・ケア連合学会
基本研修ハンドブックより

最後に

医療者はどうしても疾患の方に目がいってしまいがちになります

（もちろん、正しく診療が行われるようになるのはとても大切）

現場で実勢に目の前にいるのは、「一人の人間」としての患者さんです。

「一人の人間」としての患者さんの問題を解決できるよう、学んでいきましょう。



専攻医　勉強会

行動変容～動機づけ面接法

群馬大学大学院医学系研究科総合医療学
小和瀬　桂子

2026年11月18日（水）

ロールプレイをやってみましょう

あなたは一人で外来を受け持っています。

数回受診された糖尿病に罹患している患者さんの血糖値が悪いため、インスリン治療を勧めます。

インスリン治療を開始する医療面接を行ってください。

言葉の花束を患者に返す



集中して患者さんの話を聴き、行動を変える方向へサマリーを返すことで患者さんの発言を望ましい方向へ誘導する。

覚えてほしいこと

- 医療者の話し方で結果が変わることがある。
- 「何を話すか」も大切であるが、
  「どのように話すか」も同じくらい大切である。